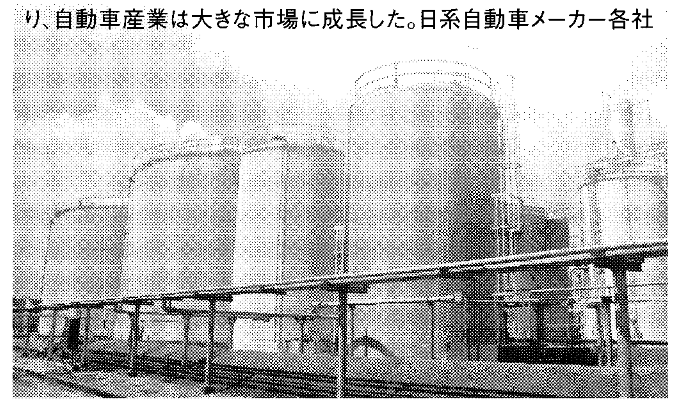
BBK Free Zone

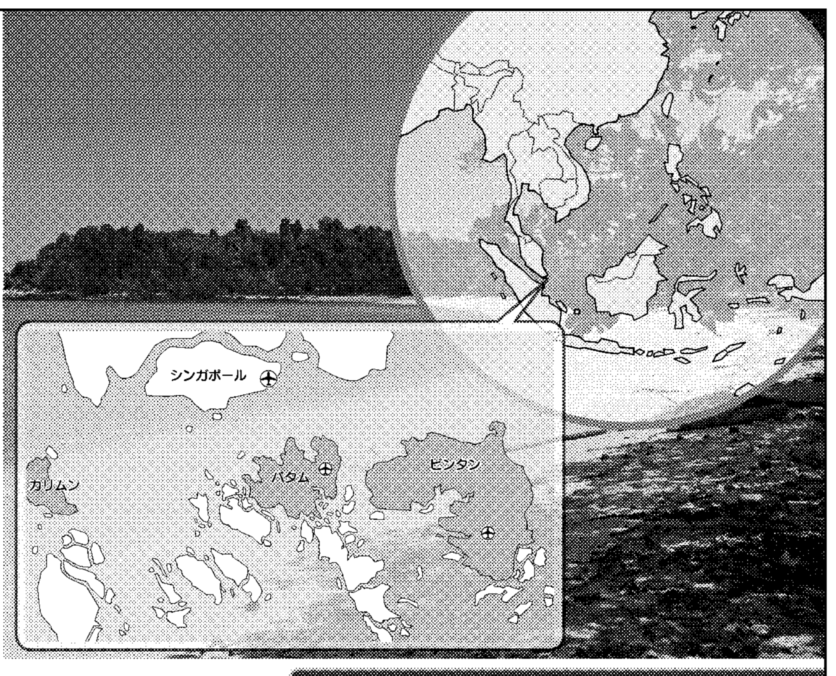
BBKとは?
リアウ諸島の北部に位置するバタム島（BATAM）、ビンタン島（BINTAN）、カリムン島（KARIMUN）の頭文字で、これら三つの島々を表す言葉。BBKはインドネシア政府が指定した自由貿易特区（FTZ―FP　BBK）。国家戦略地区の指定を受け経済成長を推進するパイロットプロジェクト。

安定した経済成長続くインドネシア

安定した経済成長が続くインドネシア共和国―。成長著しい他の新興国に加え、中国やインドにもアクセスしやすい点から、現在多くの日系企業が進出している。

2011年の新車販売台数は89万4千台で、東南アジアで首位となり、自動車産業は大きな市場に成長した。日系自動車メーカー各社は、インドネシアを東南アジア諸国連合（ASEAN）の重要な生産拠点と位置付け、生産拠点の拡大などを急いでいる。これに伴い、新工場の稼働などに対応するため、日系部品メーカーをはじめ中堅・中小企業からも進出の動きは活発化している。




シンガポール
カリムン
バタム
ビンタン

インドネシア　リアウ諸島州・BBKフリーゾーン

インフラ整う　アジアの製造拠点

知事メッセージ

国際競争力を高める物流に優位

リアウ諸島州知事
ムハマッド サニー氏

バタム、ビンタン、カリムン3島を中心にリアウ諸島州（KEPRI州）は2004年にインドネシアで32番目の州として誕生しました。25万平方キロメートルの広さを持つこの州はバタム、タンジュン・ピナンの二つの都市とビンタン、カリムン、ナツナ、リンガ、アマンバスの五つの県から成り立っており、シンガポール、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、タイ、カンボジアなどの諸国と海を隔てて国境を接しています。KEPRI州はその98%が海域で全地域がガス、石油、ボーキサイトなどを秘めた海洋、鉱山そして漁業、観光にも大きなポテンシャルを持っています。この地域は国際航路が集中するロケーションに位置しており、シンガポールとともに国際競争力のあるロジスティクス、インフラの優位性を持っています。我々はKEPRI州が今後インドネシアの投資、貿易、観光における玄関口としての役割を果たすべく最善を尽くし、一層のグローバル化に備えているところです。バタム島を先頭にビンタン島、カリムン島をはじめとしてさらに充実した広がりを見せているこの自由貿易地域にぜひともお越しいただくようお待ちしております。

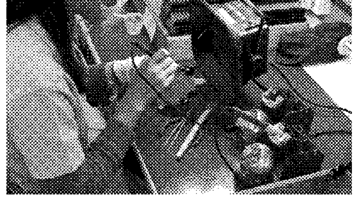
インドネシア中央統計局の発表によると、2011年の実質国内総生産（GDP）成長率は6・5%、1人当たりGDPは3500米ドルとなった。一般的に1人当たりGDPが3000米ドルに達した頃からモータリゼーションが始まるといわれる。安定した経済成長に加え、世界4位の人口の約半数が29歳未満であることから、自動車産業などの内需狙いの企業にとって、同国の市場は今、大きな魅力となっている。電子、電気、通信、機械、化学、建設などに加え、昨今は金融、保険、不動産、教育、IT、小売業、飲食業など幅広い分野に進出する投資の流れができている。自動車産業が牽引となり、それに幅広いモノづくりグループがインドネシアの産業を力強く引っ張り始めた。

日本は自由貿易協定（FTA）を締結しており、ASEAN自由貿易協定（AFTA）に加え、環太平洋連携協定（TPP）の交渉参加国として将来的なメリットが期待できる点も同国への投資を加速させている要因だ。

ASEAN域内外アクセス良好

同国の魅力は何と言ってもアジア屈指の巨大な国内市場に加えて、ASEAN域内外へのアクセスが良いことだ。AFTAにおけるメリットはもちろんのこと、ASEANは豪州、ニュージーランド、インドとFTA対象国を拡大している。中国とも枠組み協定を結んでおり、欧州との締結に向けた作業が見込まれる。さらにTPPが具体化すれば、世界最大の市場である米国市場向けのアクセスが改善されるなど今後に期待がもてる。

こうした中、インドネシア政府は優先的に開発する産業分野として、天然資源産業や労働集約型産業など六つの分野を指定している。中でも重視しているのが、成長性の高い自動車産業だ。11年のインドネシア国内新車販売台数は89万台を超え、タイを上回り東南アジアで首位となった。さらに15年には生産台数を161万台、販売台数は122万台と大幅な拡大が予想される。政府やインドネシア経済界が口をそろえて強調するのが、自動車生産の拡大には自動車部品産業の集積が不可欠という点。インドネシア政府も日本の大企業のみならず中堅・中小の部品メーカーからの投資に期待し裾野産業の充実を図っている。一方で将来を見据えて、農業、漁業、林業、プランテーション、アグリビジネスをはじめ、リサイクル、環境・エコ、新エネルギーの分野への投資誘致にも積極的であり食品加工、小売業などへの新たな呼びかけも始まっている。これらの分野では現地企業との共同出資と協業による展開が期待されている。



経済成長を支える労働力

インドネシア領リアウ諸島州（PROVINCE OF KEPRI＝RIAU ISLANDS）の中で急速な発展を遂げ現在中核となっているバタム島はシンガポールから20キロメートル。世界的に船便のもっとも頻繁なマラッカ海峡に近い地域に位置する。美しい大自然と海岸線、国際的なレベルを持つゴルフ場、エコツーリズムに相応しい大自然などに恵まれ、バリ島に次ぐ国際的な観光地としても知られる。

船舶交通量増大し造船業進出に期待

欧州や米国などを結ぶ四つの国際航路（Trans-Pacific、Intra-Asia、Europe-Far East、South East-Australia）がこの海峡を通過しており、貿易や産業、三国貿易、ロジスティックスなどの面においても優位性を持っている。このリアウ諸島州のなかでも「バタム島」「ビンタン島」「カリムン島」の3島は、その頭文字をとって「BBK」と呼ばれ、インドネシア政府から自由貿易特区の指定を受けた投資エリアとして有名だ。BBKに投資する外国投資家は、輸出税・輸入税の免除や付加価値税の免除、消費税の免除、100%株式保有など、税制におけるインセンティブを受けることができる。

また、シンガポールとの経済協力協定により、グローバルな生産とマーケティングを目指す戦略的なロケーションとして多くのメリットも享受できる。

しかしまだリアウ諸島の実態は日本ではそれほど知られていない。リアウ諸島州のバタムインドネシアフリーゾーン監督庁の顧問で日本代表を務める木下一氏は「中国の経営資源の高騰と種々のリスク、またタイの洪水問題以降、急に投資相談の件数が増えている。内需を狙って韓国やシンガポールからの投資の勢いも強まっており、今後さらに大きな流れになると思う。」という。

豊かな天然資源、安価で良質な労働力に恵まれ、内需への期待も大きく、インフラ面でも充実してきた環境は、「ASEANでのビジネス展開を考える日本にとって今後重要な生産拠点となることは間違いない」と木下代表は話す。BBK日本事務所では、電機、医療、化学製品の加工に加え、造船、観光、バイオ、環境などの分野で投資誘致を促進しているが、中でもマラッカ海峡を通過する輸送船の増大から「世界に誇る造船技術を持つ日本の造船業には、是非とも同州の持つ投資環境の優位性を確かめた上で進出してほしい」と語る。

総領事メッセージ

両国の発展に経済協力盛ん

在大阪インドネシア共和国
総領事館 総領事
イブヌ ハディ 氏

インドネシアは好調な発展を続けています。2011年の経済成長率は6・5%で、12年は6・7%の成長が見込まれています。民主主義国として政治的に安定していることに加え、約2億4000万人の人口を有する巨大な国内市場と豊富な天然資源を持ったインドネシアは日本企業の有望なビジネスパートナーとして近年、高い関心を集めています。日本の対インドネシア投資は伸び続けており、11年は421件、総額15億1600万米ドルの投資があり、前年比2倍の増加となりました。また、12年上半期の日本からの投資は249件、投資総額11億3000万米ドルに達し、前年同期に比べ57%増加しました。アジアやASEANにおける重要拠点として多くの日本企業が積極的にインドネシアへの進出、または現地事業の拡大を進めています。両国に発展をもたらす日本とインドネシアの経済協力が今後ますます盛んになりますことを期待いたしております。

インドネシアへの出張に　ガルーダという選択。
会社もうれしい、社員もうれしい。そんな出張はいかがですか。

「機内入国審査」で
並ばず入国

飛行機の機内で到着ビザの発給と入国審査が完了する“機内入国審査プログラム”を成田・関空発便で実施しています。到着空港で入国審査をお待ちいただくことなく、専用レーンを通ってスムーズに入国していただけます。

ガルーダ・インドネシア航空会社
〈東京支店〉〒100-0005　東京都千代田区丸の内3-3-1　新東京ビル1階　TEL 03-3240-6161
〈大阪支店〉〒556-0017　大阪府大阪市浪速区湊町1-4-1　OCATビル3階　TEL 06-6635-3222
www.garuda-indonesia.co.jp

Garuda Indonesia
The Airline of Indonesia

インドネシアの新しい投資先をご紹介いたします。
日本語でご相談下さい

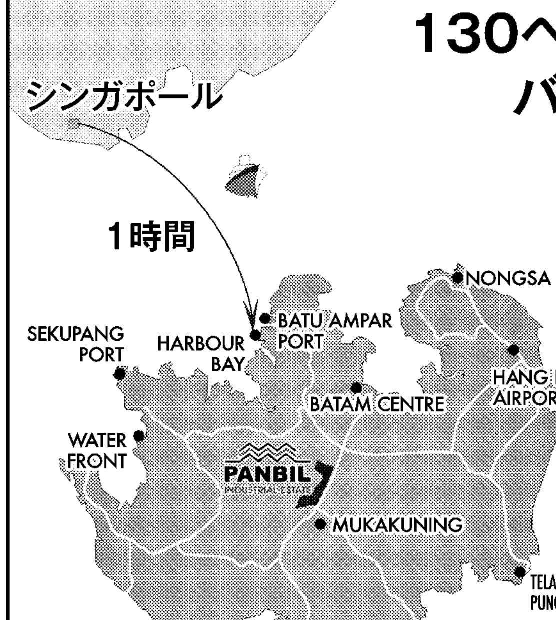
最新情報の提供、
工業団地の紹介、
現地視察の手配から
投資相談、会社設立まで
…を支援します。

日本事務所：〒542-0081 大阪市中央区南船場4丁目12-22　心斎橋東栄ビル7階-705
・バタムインドネシアフリーゾーン監督庁
TEL: (06)6253-6133　FAX: (06)6253-6134　E-mail : batamosaka@alpha.ocn.ne.jp
・東ジャワ州政庁
TEL／FAX: (06)6253-6177　E-mail : h-kino@mth.biglobe.ne.jp

PANBIL
INDUSTRIAL ESTATE

Panbil Industrial Estate
投資に関する全てのお手伝いをいたします

130ヘクタールの土地を
バタムの戦略的な中心部に用意しています



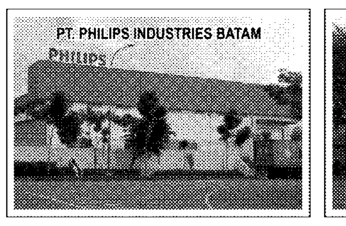
バタム島

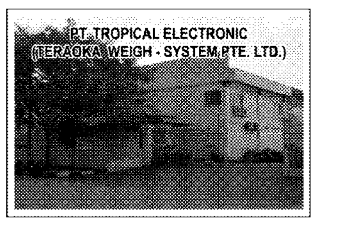
投資への利点：
- 自由貿易地帯
- 外資100%出資可能
- 80年の土地使用権（延長も可）
- 豊富な労働力

幅広い産業促進のための環境
- 1,200m²～5,000m²の工場操業が即可能（購入、レンタルはお好み次第）
- 独自の設計での工場建設も可
- 工業団地の自家発電、給水も完備
- 従業員用の宿舎、リクリエーション施設も完備
- 他社に負けない競争力
- ワンストップサービスでの支援活動

PT. SHIMANO BATAM

TDK - EPC
(PT. EPCOS INDONESIA)


PT. PHILIPS INDUSTRIES BATAM


PT. TROPICAL ELECTRONIC
(TERAOKA WEIGH - SYSTEM PTE. LTD.)

Batam :
PT. NUSATAM PROPERTA PANBIL
Panbil Plaza, Jalan Ahmad Yani
Muka Kuning - Batam 29433, Indonesia
Tel. +62 778 371000, Fax. +62 778 371100
www.panbil.co.id

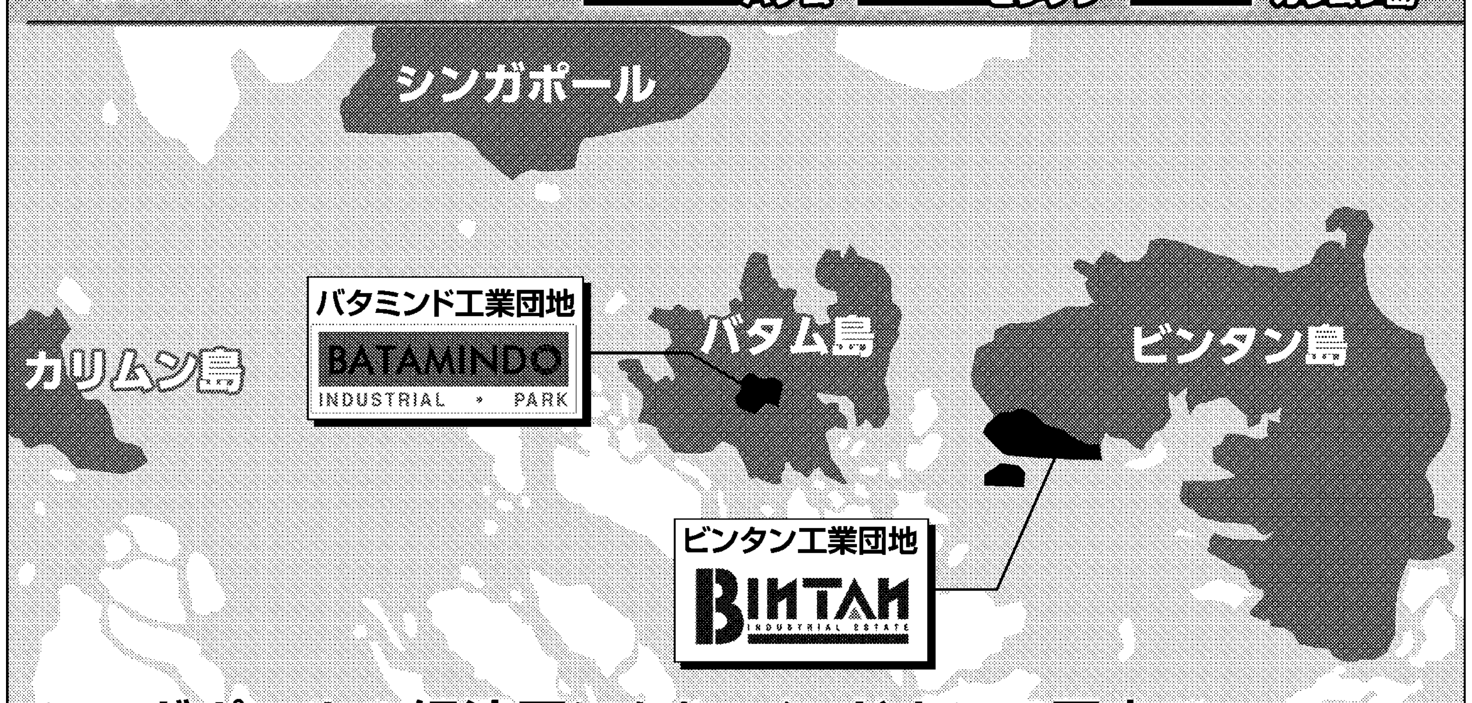
連絡先：

–Agnes Budiman
Mobile : +62 811692521
E-mail : agnes@panbil.co.id

–Ricky R.P.Johnny
Mobile : +62 81372041888
E-mail : ricky_rpj@panbil.co.id

インドネシアと
シンガポールの
共同開発により
発展した産業基地

BBK
バタム　ビンタン　カリムン島



シンガポールの経済圏にあり、インドネシア国内で、
最大且つ唯一の自由貿易地域をリードする、二つの工業団地

セムコープは、中国、東南アジアに工業団地を開発、運営するエキスパートです。

sembcorp　セムコープ
Sembcorp Parks Management Pte Ltd

お問い合わせ
担当：長谷川 彰　TEL. +65 6723 3969　E-mail akira.hasegawa@sembcorp.com
竹重 朋美　TEL. +65 6723 3970　E-mail tomomi.takeshige@sembcorp.com